



生徒会役員選挙 ~選挙は「約束」の機会~

10月8日(火)、新しい学校のリーダーを決める生徒会役員選挙の立会演説会、投票が行われました。候補者の皆さんはそれぞれ現在の学校の課題と、それに自分がどう取り組んでいくかについて、しっかりと述べてくれました。彼らのやる気と勇気に敬意を表したいと思います。

しかし、どんなに優れたリーダーであっても、一人で何事もやっていくことはできません。全校生徒の協力が必要です。選挙は候補者が学校のために頑張りたいことを具体的に話し、約束する機会ですが、同時に全校生徒がリーダーに協力し、一緒により良い学校を創っていくことを約束し、責任を共有する機会でもあります。全校生徒が生徒会活動の意義を理解し、新たな伝統づくりへのスタートとなることを期待しています。

新生徒会役員の皆さん(敬称略)

生徒会長	稲葉 翔吾 (2B)	生活委員長	渡邊 由乃 (2A)
副会長	佐藤 さら (2A)	学習委員長	星 聖愛 (2A)
	三浦 翔司 (2A)	図書委員長	金野 晴 (2A)
執行委員	畠山 知子 (2B)	保健委員長	高山 桃華 (2A)
	千葉 鳳輝 (2A)	報道委員長	星 和 (2B)
	三浦 愛鈴 (1A)	応援委員長	小野寺 翔 (2A)
	佐藤 佑心 (1A)		



健闘！県新人大会~ソフトボール部準優勝！~

10月19~20日の2日間、岩手県中学校新人大会が開催され、本校からはソフトテニス部(男女)とソフトボール部(花泉中・千厩中と合同)、特設陸上部の大住勝太郎さんが出場しました。

19日は時折雨に、20日は強風に見舞われるなど、良いコンディションとは言えない状況でしたが、ソフトボール部が準優勝という素晴らしい結果を収めた他、その他の部、個人も練習の成果を発揮して素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。また保護者の皆様も多数応援に駆けつけ、熱い声援を送ってくださいました。ありがとうございました。

大会結果(敬称略)

種目	結果	種目	結果
ソフトテニス(男子)	団体戦 1回戦 対黒石野中 1-2 敗退 個人 佐藤佑心・及川諒 組 1回戦 対北上中 2-4 敗退	ソフトボール	1回戦 対遠野中 13-1 勝利 準々決勝 対水沢南中 13-0 勝利 準決勝 対東和中 20-1 勝利 決勝 対江釣子・和賀東・沢内中 2-8 敗退(準優勝!)
ソフトテニス(女子)	団体戦 1回戦 対宮古西中 1-2 敗退 個人 佐藤さら・三浦明莉 組 1回戦 対長内中 1-4 敗退		
陸上競技	共通男子400m予選 大住勝太郎1分1秒52 敗退		



ありがとうございました！～PTA親子奉仕作業～

10月19日(土)、PTA親子奉仕作業が行われ、多くの保護者の皆様にご参加頂きました

7時半からの約1時間で、例年通り普段生徒や教職員だけでは行き届かない作業である窓ガラス拭き、ベランダ清掃を行って頂いた他、今年は旧藤沢高校以来の大量の廃棄物(昭和の時代からの教材備品など)の運搬作業にご協力を頂きました。

おかげさまで、週末に控えた文化祭ではきれいな校舎で保護者の皆様をお迎えすることができます。ありがとうございました。

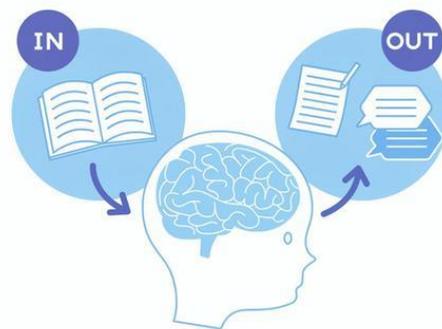


受験について話しましょう その2

前号では「受験」の意義や保護者の皆様をお願いしたいことについて述べました。そしてその中で、「学習法に誰にでも合う王道はないので、まずは取り組み始めて、その中で自分に合ったものを見つけましょう。」という話をしました。

しかし、以前学校通信第6号でもお伝えしていましたように(「勉強してから遊ぶか、遊んでから勉強するか」)脳科学的に効率の良い方法で学習を行った方が良いのは事実です。そこで今回は学習の方法について述べたいと思います。

勉強した内容を記憶として定着させるためには、インプット(入力)とアウトプット(出力)が重要です。勉強におけるインプットとアウトプットには以下の違いがあります。和らぐ



インプット⇒暗記、理解

アウトプット⇒テスト

学習に関する多くの文献で取り上げられているアーサー・ゲイツという教育心理学者による小3から中2の年代の生徒を対象にした実験で、ある内容を定着させるのに「覚える時間(インプット)」と「演習する時間(アウトプット)」の割合を様々に変えて行った結果、最も高い結果を出したのは「覚える時間が30%～40%」の生徒でした。

つまりこれを勉強に当てはめて考えると、**教科書や参考書などを読んで覚える時間が3～4割で、残りの時間(最低でもその倍)は問題を解く時間に充てる**ということです。一つの単元を覚えたら次へいくのではなく、必ずアウトプットをさせてください。教科書を丸暗記するのではなく、積極的に覚えた知識を活用して問題を解くことで知識として定着していくのです。

学校での授業は、まずはその学習内容に初めて触れる機会となりますから、インプットの割合が必然的に多くなります。そこで**家庭学習でアウトプットに時間をかけることが必要**となるのですが、それ以外でもご家族が夕食時や送り迎えの際の会話に、「今日はどんなことを勉強したの?」という質問を加えてみることでアウトプットを増やすことにつながります。

2号にわたり様々述べさせて頂きましたが、改めてお子さんと「将来」や「受験」、「学習」について会話をしてみてください。そのきっかけとしてこの通信を使って頂ければと思います。

